

映画「氷菓(実写版)」上映会について

高山市出身の作家 米澤穂信さん原作の映画「氷菓(実写版)」の 11 月 3 日(金、祝)公開にあわせて、高山市でも上映会を行うことになりました。

観覧をご希望の方は、以下の事項をご確認のうえ、申込書にご記入ください。

[日 時] 平成 29 年 11 月 23 日(木、祝)

第 1 回:13:00~15:00(12:30 開場) 第 2 回:16:00~18:00(15:30 開場)

[場 所] 飛騨・世界生活文化センター 飛騨芸術堂(定員 500 名、全席自由席)

[観覧料金] ・事前申込:共通 1,000 円

・当日申込:一般 1,300 円、小・中・高・シニア(60 歳以上)1,000 円

・観覧料金は当日会場の受付にてお支払いください。(ハガキをご提示ください。)

[観覧申込]

○電話の場合

平日 9:00 から 17:00 までの間に高山市役所観光課(0577-35-3145)までご連絡ください。

○Eメールの場合

メール本文に以下の内容を記載の上、高山市役所観光課(kankou@city.takayama.lg.jp)までご送信ください。

・代表者の郵便番号、住所、電話番号

・観覧される方全員の氏名

・観覧を希望される回及び人数 第 1 回(13:00~) 名 第 2 回(16:00~) 名

○申込書提出の場合

別紙「氷菓(実写版)観覧申込書」に必要事項を記載の上、平日 9:00 から 17:00 までの間に、高山市役所本庁 2 階観光課までご提出ください。

○FAX の場合

別紙「氷菓(実写版)観覧申込書」に必要事項を記載の上、高山市役所観光課(0577-35-3167)までご送信ください。

[注意事項]

・事前申込の受付期間は 11 月 3 日(金)~17 日(金)です。なお申込多数の場合、抽選となります。

・事前申込で定員に達した場合、当日のお申込はお受けできません。

・お申込は1回につき最大 5 名までとします。

・申込受付後、記載のご住所に観覧券としてご利用いただくハガキを申込まれた人数分送付しますので、当日ハガキを必ずご持参ください。

・抽選から外れた場合にも、その旨を記載したハガキを送付します。

・当日の開場は上映時間の 30 分前からとなります。(全席自由席)

・いただいた個人情報については厳重に管理し、本業務以外では一切使用しません。

[お問合せ、お申込先] 高山市役所観光課(電話:0577-35-3145 FAX:0577-35-3167)

映画「氷菓(実写版)」

[原作]

米澤 穂信「氷菓」

[監督・脚本]

安里 麻里(劇場版 零 ゼロ、リアル鬼ごっこ 3～5 ほか)

[キャスト]

山崎 賢人(折木 奉太郎) 広瀬 アリス(千反田 える) 岡山 天音(福部 里志)

小島 藤子(伊原 摩耶花) 本郷 奏多、斉藤 由貴、 ほか

[あらすじ]

「やらなくてもいいことなら、やらない。やらなければいけないことなら手短に。」をモットーとする“省エネ主義”の折木奉太郎は、姉の命で部員ゼロ&廃部寸前の古典部に入部する。

そこに“一身上の都合”で入部してきたのが、お嬢様の千反田える。一度好奇心を刺激されると、「わたし、気になります！」と大きな目を輝かせ、誰にも止められない。えるに引っ張られ、奉太郎の潜在的な推理力が開花し、学園に潜む謎を次々と解き明かしていく。

そんなある日、奉太郎はえるから、33年前に起きたある事件の謎を解明してほしいと依頼される。

旧友の福部里志、伊原摩耶花も加わって4人となった神山高校古典部員たちは、事件の真相に迫っていく。

(映画「氷菓」公式サイトより)

[作品情報]

原作は、史上初2年連続ミステリーランキング3冠を獲得した、高山市出身の作家「米澤穂信」のデビュー作「氷菓」。その後全6作品が刊行され、累計230万部突破の〈古典部〉シリーズの幕開けとなりました。

“奉太郎”にはドラマや舞台で大活躍中の山崎賢人を、“える”には若手注目女優の広瀬アリスを配役し、脇を固める実力派俳優陣と共に小説「氷菓」の世界をミステリアスに表現します。

高山市内では、弥生橋、宮川河川敷、斐太高校、煥章館、バグパイプ(喫茶店)でロケが行われました。

氷菓(実写版)観覧申込書

[住所] 〒 _____ ※代表者のみ

[氏名] _____
_____ ※全員分

[電話番号] _____ ※代表者のみ

[観覧希望数] 第1回(13:00～) 第2回(16:00～)
_____名 _____名 ※2回あわせて最大5名まで